



東 公民館inkan

徳丸村芝居 ～受け継がれる地域文化～

高忍日売神社たかおしひめで虫干祭むしぼしまつりが行われ、午後8時から徳丸村芝居が上演されました。今年の演目は「次郎長外伝 森の石松」で、地元を中心とした出演者の熱演に、歓声と拍手が湧き起こり、笑い声とおひねりが飛び交いました。

村芝居は、かつてはあちこちの神社や学校の渡り廊下で青年団などによって上演されていましたが、残念ながら最近では見かけることが少なくなりました。徳丸でも一時期途切れていましたが、平成8年から有志の手によって再開されました。来年には「全国村芝居サミット」が松前町で開催されることになっていて、スタッフの皆さんも非常に力が入っていました。



地域文化の伝承は、文化そのものの伝承はもちろんのこと、地域に暮らす人の心を育て、絆を深める上で大きな役割を担っています。村芝居を復活させ、続けていくことは並々ならぬ労力が必要だと思いましたが、地域のためにこの文化を受け継いでいこうと立ち上がった人の情熱に、心からの拍手を送りたいと思います。

西 公民館inkan

松前校区愛護部主催キャンプ

7月18日から19日にかけて、1泊2日のキャンプ生活を松山市中島町宇和間交流センターで行いました。小中学生の子どもたちと保護者総勢約100名は、バス・フェリーに乗り込んで中島町に向かいました。

異年齢の子どもたちを10班に編成し、自主的活動に主眼をおき、班長が中心となつての生活です。キャンプ地について昼食をとったあと、海水浴を楽しみました。いっぱい遊んだせいか、夕食時の子どもたちの食欲には驚きました。その後、キャンプファイヤーや花火大会、きもだめしなどを十分楽しみ、就寝しました。

翌日にも海水浴をし、昼食には焼きそばとおにぎりを食べました。

初めての海でのキャンプは、自然に触れ合う体験と、人と人との出会いができ、子どもたちにとってよい思い出になったと思います。



北 公民館inkan

おかだっ子広場



放課後子ども教室、通称「おかだっ子広場」が6月25日(木)からスタートしました。おかだっ子広場は、地域の人の見守りのもと、子どもたちが安全で楽しく放課後を過ごせる「居場所」となっています。



今年度は岡田小学校1・2年生の計29名が、木曜日の放課後に活動しています。

活動場所は小学校体育館や北公民館で、宿題もしますが、スポーツ、工作、音楽・映画鑑賞など楽しい内容が盛りだくさんです！

これからもいろいろな内容を計画して、子どもたちの思い出に残るような活動を行っていききたいと思います。